



今年も残すところあと少し

今年は前向きな気持ちでクリスマスを迎えませんか？

いつもお世話になっている皆様へ…

Merry Christmas!!

コラム

シュトーレン

最近この時期になると街中では粉砂糖でコーティングされたパン“シュトーレン”を見かけます。今回はそのシュトーレンを紹介します。

シュトーレンはドイツに古く伝わる伝統的なパン菓子です。ドイツではキリスト教が信仰されており、イエス・キリストの降誕を待ち望む期間にシュトーレンを食べるという風習があります。作られる地域によって生地に入れる材料が異なったり、お店や各家庭によってレシピが違う為、味や食感も様々で種類が豊富です。日本では抹茶シュトーレンなどもあります。想像するだけで美味しそうですね♡表面にはたっぷりと粉砂糖がまぶされている為、材料によっては1~3ヶ月日持ちするものもあります。シュトーレンの本場ドイツでは、クリスマスの4週間前から毎日薄くスライスし食べていく習慣があるそうです。日が経つと共に中に入っているドライフルーツの味が生地に染み込み味わい深くなっていき、紅茶やワインとの相性は抜群です。



クリスマスまで味の変化を楽しみながら食べるシュトーレンを今年は是非味わってみてはいかがでしょうか。

JUN 歯科クリニック コンシェルジュ 小竹萌

JUN 歯科クリニック

TEL・FAX 087-813-2123

〒760-0054

高松市常磐町2丁目8-10 Macrophage Bldg

JUN インプラントセンター

TEL 087-813-2331

サンポート歯科

TEL・FAX 087-851-5545

〒760-0011

高松市浜ノ町63-2 Blue Box

“サリバチェッカー”で健康状態をセルフチェック！

サリバチェッカー、だ液を採取するだけで現在がんの可能性があるかを調べる検査として、季刊誌でも何度か紹介してきました。今回はQ&A形式で、もう少し詳しくご紹介していきたいと思います。

Q：どうしてだ液でがんのリスクがわかるの？

A：がん細胞から染み出す代謝物がだ液に表れるからです。

だ液は「身体の鏡」といわれ、血液や尿と同じように健康状態の指標となる多くの情報を含みます。だ液中の成分の大部分は血液由来のため、がん細胞から染み出す代謝物質は血管を通り、だ液中に染み出します。サリバチェッカーは、最新の測定装置を用いてこれらの物質の濃度を解析することで、現在がんの疑いがあるかどうかを調べます。

Q：検査の特長は？

A：1度に複数のがんリスクがわかります。

がん細胞から染み出る代謝物質を測定しているため、症状が出にくい膵がんも早期発見できる可能性があります。また、数滴のだ液を採取するだけなので、体に負担をかけません。痛みや血液検査が苦手な方でも安心して受けていただけます。



Q：当日すぐに検査は受けられるの？

A：検査の2日前から当日の朝まで、食事制限や注意する項目がいくつかあります。したがって、検査日より前に相談のお時間を設けております。また、歯周病が進行している方では検査結果に影響を及ぼす可能性があるため、一度お口の中も診査する必要があります。

サリバチェッカーはがんを診断するためのものではなく、現在がんの疑いがあるかどうかを調べる検査です。必ずがんを発見できるというものではありません。リスク値が低い場合でも、定期的に検査や人間ドックを受けていただくことをお勧めします。

歯科医師 吉田千紘

私たちと一緒に

働きませんか？

スキルの向上を目指したい、子育てをしながら働きたい、などの希望も叶います！
経験の有無は問いません。
詳しくはHPをご覧ください！



スタッフ募集中

～年末年始のお知らせ～

2021年12月28日(火)～2022年1月3日(月)までお休みします。

年始は2022年1月4日(火)から診療します。

来年もどうぞよろしくお願ひ致します。

